

テレワークとグループウェア

IT専門サポーター 鵜野 昭二

(ITコーディネータ、有限会社フレバー情報システム 代表取締役)

テレワークを行う場合、Zoomに代表されるテレビ会議システムを利用して離れた場所でも会議、打ち合わせができること、もう一つは離れた場所でも社員間で情報共有ができることが必要になります。この情報共有ができることは社内のIT化を行う上で必須の条件と言ってもいいかもしれません。そしてこの社員間（取引先含む）で共有すべき情報には各人のスケジュール、Excel、Word等で作られた各種のドキュメント、社内の伝達事項等色々あります。これらの情報を総合的にまとめて管理できるようにしたものがグループウェアです。これに営業の案件管理の機能を加えると「営業支援システム」と名前が変わります。SNSの広まりによってLINEで簡単にメッセージのやり取りができたり、Chatwork等のビジネスツールを利用してグループ単位で情報共有ができるようになりましたのでそれで十分と思われるかもしれませんが、今回は総合的に社内の情報共有ができるグループウェアの機能について書いてみたいと思います。

グループウェアは製品としてはかなりの数があります。その中で中小企業、小規模事業者でも導入のしやすい製品としてはサイボウズ、デスクネットが有名です。しかし各社の製品で利用できる機能に大きな差はありません。またスマホ、タブレットでも利用できるようになっている製品がほとんどです。

提供される機能としては下記のようなものがあります。

■ カレンダー

個人の予定管理や、社員間の予定の共有ができる機能です。メンバーの空き時間を見ながら予定を登録できるので、予定の日程調整がやりやすくなります。

■ メール

Webブラウザで動くメール機能が提供されている

のでどこでもメールのチェック、送信ができます。

■ 設備予約

会議室、社有車など社内で共有して使用する施設等の空き状況の確認、予約ができます。

■ 掲示板（回覧板）

総務からの社内的な行事や提出物の告知、営業報告など、全社員に向けた情報発信ができます。コメント機能や、「いいね!」などのリアクション機能がついている製品もあるので、一方的な発信だけでなく、社員同士の意見交換もできます。

■ ワークフロー

「稟議書」「交通費申請」「休暇申請」などの処理を電子化できます。Webブラウザで処理しますので上司が出張中で申請が止まってしまうことも無くなります。

■ ファイル管理

文書やデータを共有できます。ファイルのバージョン管理ができる製品もあります。

その他にも色々な機能が提供されている製品がありますが全ての機能を使う必要はありません。多くの機能の中の3種類程度がちゃんと利用できればそれで導入は成功と考えて良いと思います。

社内の情報共有ができれば労働生産性は大きく上がります。グループウェアはほとんどの製品が30日程度の無料お試し期間がありますし利用料金も1ユーザー数百円程度のもので多くそれほど高くはありません。これを機会に是非導入を検討してみてください。導入について疑問点、不安な所などありましたらIT相談窓口をご利用ください。



IT相談窓口

IT専門サポーターがITに関するギモンや課題にマンツーマンでアドバイスします。

毎週木曜日 9:00~17:00

9月は、3日(木)、10日(木)、17日(木)、24日(木)開設予定です。

※都合により、日程を急遽変更する場合がございます。

予約制・無料



お気軽にお問合わせください。

姫路ものづくり支援センター（姫路商工会議所・姫路市）

TEL 079-221-8989

FAX 079-222-6005

メール kougyou@himeji-cci.or.jp